

RPSJ NETWORK

Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会総会 2006



2006 (平成 18) 年 10 月 19 日-20 日

長野県木曾郡上松町

はじめに

日本鉄道保存協会が設立されて、今年で16年を迎えます。

この間、微力ではございますが、多くの皆さまのご支援とご協力を頂きながら活動をつづけてまいりました。現在、加盟団体は28を数え、より一層の広がりをみせております。

最近では、歴史的車両の動態保存や静態保存が全国各地で推進され、広く一般の皆さんの関心を集めつつあります。

また、歴史的車両だけでなく、駅舎・橋梁・隧道などの鉄道遺産を地域活性化の核として保存・活用する事例も多く見られるようになってきました。

これら鉄道遺産を我が国の誇るべき近代化遺産の一つとして位置づけ、私たちの大切な宝物として後世に伝え残していきましょう。

日本鉄道保存協会 平成 18 年度総会次第

[日 時] 平成 18 年 10 月 19 日 (木) 13 時から 18 時まで
[開催地] 長野県上松町

司会進行 名取紀之

1. 挨拶
開催地団体代表 上松町助役 曾我 俊郎
代表幹事団体 (仮) 交通文化振興財団理事長 菅 建彦
顧問 英文学者 小池 滋
2. 出席者紹介及び加盟団体近況報告
3. 議事
 - 1) 議長選任
 - 2) 事務局 (代表幹事団体) の異動について
 - 3) 新加盟団体の承認
 - 三菱大夕張鉄道保存会
 - 加悦鐵道保存会
 - 碓氷峠鐵道文化むら
 - 4) 退会の報告
 - 小樽交通記念館
 - 5) 平成 17 年度事業報告
 - a. 総会の開催 (平成 17 年 10 月 7 日 北海道旅客鐵道(株)・小樽市)
 - b. 歴史的鐵道車両の保存活用についてのコンサルティング
 - c. 会報の発行 資料 1
 - d. マスコミなどを通じたの広報活動
 - e. 会員及び賛助会員の拡充
 - f. その他
 - 6) 平成 17 年度収支報告 資料 2
 - 7) 平成 17 年度会計監査報告 資料 3
 - 8) 平成 18 年度事業計画 (案)
 - a. 総会の開催 (平成 18 年 10 月 19 日 長野県上松町)
 - b. 歴史的鐵道車両の保存活用についてのコンサルティング
 - c. 会報の発行
 - d. マスコミなどを通じたの広報活動
 - e. 会員及び賛助会員の拡充
 - f. その他
 - 9) 平成 18 年度収支予算 (案) 資料 4

- 10) 次回開催地について
- 12) 顧問の増員と指名について
- 13) その他

4. 開催地団体の取り組み

長野県上松町役場商工観光係長 横井 実

5. 講演

基調講演 「森林と鉄道」 東京学芸大学名誉教授 青木 栄一

特別講演 「阿里山鉄道について」

宏都阿里山国際開発株式会社社長（CEO）張耀仁（Dr Chang Yao-Jen)ほか

6. 討論 「鉄道遺産の保存と地域活性化」

パネリスト	加悦鐵道保存会理事	篠崎 隆
	碓氷峠鐵道文化むら理事長	櫻井 正一
	北恵那交通株式会社社長	清水 武
	上松町助役	曾我 俊郎
コーディネータ	日本鐵道保存協会	米山 淳一
コメンテータ	同上	堤 一郎
総括	日本鐵道保存協会顧問	小池 滋

【平成18年度総会出席者】

顧問(2名)

東京学芸大学名誉教授 青木 栄一
 英文学者 小池 滋

加盟団体(20名)

遠軽町(旧丸瀬布町) (欠席)
 三笠市 (欠席)
 北海道旅客鉄道株式会社 (欠席)
 ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会 (欠席)
 三菱大夕張鉄道保存会 (欠席)
 磐越西線SL運行推進協議会 (欠席)
 ウェスタン村「大高企業株式会社」 (欠席)
 真岡線SL運行協議会 (欠席)
 碓氷峠交流記念財団「碓氷峠鉄道文化むら」 理事長 櫻井 正一
 " 元運行係長 土屋 幸正
 " 管理課長 高橋 寛
 日本工業大学 講師・学芸員 丹治 明
 西武鉄道株式会社 (欠席)
 財団法人東日本鉄道文化財団 企画部財務課長 東谷 正幸
 " 鉄道博物館プロジェクト部主任 馬場 菜生
 財団法人東武鉄道共助会「東武博物館」 花上嘉成 (欠席)
 財団法人交通文化振興財団「交通博物館」 館長 菅 建彦
 " 専任学芸員 佐藤 美知男
 " 総務課長 浅野 善一
 財団法人日本ナショナルトラスト 根岸 悦子
 上松町 助役 曾我 俊郎
 " 産業観光課長 茂澄 統一
 " 商工観光課長 横井 実
 " 商工観光係 下起 淳
 " 町づくり推進室長 田上 洋介
 虹の郷「財団法人伊豆市振興公社」 (欠席)
 大井川鉄道株式会社 運輸部課長 萬豆 明夫
 東海旅客鉄道株式会社 車両部管理課担当課長 上條 克郎
 博物館明治村「財団法人明治村」 サブリ - ダ - 祖父江 勇二
 西日本旅客鉄道株式会社 広報部 平田 恭子
 加悦SL広場「カヤ興産株式会社」 顧問 須藤 洋右
 加悦鐵道保存会 理事 篠崎 隆
 ふるさと鐵道保存協会 (欠席)
 馬路村「やなせ森林鐵道運営委員会」 (欠席)
 山口線SL運行対策協議会 (欠席)
 九州旅客鐵道株式会社 広報課 兼子 慎一郎
 屋久町 (欠席)

賛助会員(9名)

株式会社ネコ・パブリッシング	編集長	名 取 紀 之
株式会社鉄道ジャーナル社	編集長	竹 島 紀 元
株式会社JTBパブリッシング	編集制作本部主幹	大 野 雅 弘
〃	企画出版部主査	木 村 嘉 男
〃	企画出版部主査	河 合 桃 子
有限会社鉄道フォーラム	代表取締役	伊 藤 博 康
日本鉄道写真作家協会	JRPS副会長	山 崎 友 也
〃	JRPS事務局長	中 井 精 也
レイルウェイライター		種 村 直 樹

オブザーバ(15名)

産業考古学会	理事	堤 一 郎
陸別町商工会	副会長	山 本 周 二
赤門鉄道クラブ		岡 田 久 雄
北恵那交通株式会社	社長	清 水 武
上松町鬼淵鉄道を残す会		楯 英 雄
財団法人日本ナショナルトラスト	鉄道サ-クル	岩 野 弘 一
〃	鉄道サ-クル	谷 口 直 人
〃	鉄道サ-クル	長 野 光 芳
フリ-ランス・トラベルライター		白 川 淳
四国旅客鉄道株式会社	営業企画課長	加 藤 圭 哉
王滝村森林鉄道フェスティバル実行委員会	王滝村教育長	藤 沢 滋
りんてつ倶楽部	代表	高 橋 滋
中部産業遺産研究会		山 田 貢
横浜市立大学		可 知 博 通
元財団法人日本ナショナルトラスト		米 山 淳 一

来賓(4名)

宏都阿里山国際開発株式会社	執行長(CEO)	張 耀 仁
〃	副社長	陳 毅 民
〃	企研部部长	陳 柏 維
〃	専門員	洪 千 雅

日本鉄道保存協会規約

(名称)

第1条 この会の名称は、日本鉄道保存協会（以下〔協会〕という）とする。

(目的)

第2条 協会は、歴史的鉄道車両を動態及び静態保存している団体が集い、相互に情報を交換し、将来にわたる保存・活用を推進することを目的とする。

(会員)

第3条 協会は、正会員たる加盟団体および賛助会員をもって構成する。

(会議)

第4条

1. 協会の会議は、総会および幹事会とする。
2. 総会は年1回開催するものとし、必要のつど臨時に開催することができる。

(役員団体)

第5条

1. 協会に代表幹事団体1団体、幹事団体2団体、会計監事団体2団体を置く。
2. 代表幹事団体、幹事団体、会計監事団体は、加盟団体の互選により選出する。
3. 代表幹事団体は、協会を代表し会務を総理する。
幹事団体は、総会その他会務の執行に関する重要事項を協議する。
会計監事団体は、協会の会計を監査する。
4. 役員団体の任期は2年とし、重任を妨げない。

(顧問)

第6条 協会に顧問を置く。顧問は、総会において代表幹事団体が推薦し、任期は2年とし、重任を妨げない。

(事務局)

第7条 協会の事務局は、代表幹事団体に置く。

(会費)

第8条

1. 協会の経費は、正会員、賛助会員が拠出する会費、および寄付金により賄う。

2. 年会費の額は、正会員12,000円、賛助会員12,000円(1口)とする。

3. 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(規約の改正)

第9条 この規約の改正は、総会の議決によらなければならない。

付則 この規則は、平成3年4月1日から施行する。

総会の運営方法

原則として加盟団体が輪番制とし、開催に際しては、代表幹事団体および幹事団体ならびに開催場所の団体が協同して行う。

平成 3年 4月 1日施行

平成 6年 8月10日改正

平成16年 9月10日改正

日本鉄道保存協会加盟団体名簿 1

は担当

1 遠軽町(旧丸瀬布町) 〒099 - 0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町115 - 2 遠軽町役場丸瀬布総合支所 産業課観光係 係長	町長 枝松泰彦 Tel 01584 - 7 - 2211 Fax 01584 - 7 - 2128 小山信芳
2 三笠市 〒068 - 2192 北海道三笠市幸町2 三笠市役所 経済建設部商工観光課 商工観光係 主事	市長 小林和男 Tel 01267 - 2 - 3997 Fax 01267 - 2 - 7880 力弓晃継
3 北海道旅客鉄道株式会社 〒060 - 8644 北海道札幌市中央区北11条西15 運輸部管理課長 茂木高一 鉄道事業本部運輸部 運輸車両課グループ-ブリ-タ	代表取締役 小池明夫 Tel 011 - 700 - 5785 Fax 011 - 700 - 5786 黒田宣元
4 ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会 〒054 - 0364 北海道勇払郡穂別町富内 事務局長	会長 加藤 勉 Tel 01454 - 6 - 6217 Fax 01454 - 6 - 6217 服部啓三
5 三菱大夕張鉄道保存会(新規加入) 〒069 - 0855 北海道江別市大麻宮町4 - 6 - 502 事務局	会長 奥山道紀 Tel 011 - 387 - 4783 今井一郎
6 磐越西線SL運行推進協議会 〒965 - 0816 福島県会津若松市南千石町6 - 5 総合事務センター - センタ - 長	会長 小野隆市 Tel 0242 - 27 - 1212 Fax 0242 - 27 - 1207 一ノ瀬善弘
7 ウェスタン村[大高企業株式会社] 〒321 - 2421 栃木県今市市栗原315 - 1 芸能部企画事業室	代表取締役社長 大南兼一 Tel 0288 - 21 - 8731 Fax 0288 - 21 - 7093 森本 浩
8 真岡線SL運行協議会 〒321 - 4305 栃木県真岡市荒町5203 総務課長 板口敏一 総務課ふるさと振興係	会長 福田武隼 Tel 0285 - 82 - 9151 Fax 0285 - 82 - 9152 永嶋良智
9 碓氷峠交流記念財団「碓氷峠鉄道文化むら」(新規加入) 〒379 - 0301 群馬県安中市松井田町横川407 - 1 管理課長	理事長 櫻井正一 Tel 027 - 380 - 4163 Fax 027 - 380 - 4111 高橋 寛
10 日本工業大学 〒345 - 8501 埼玉県埼玉郡宮代町学園台4 - 1 工業技術博物館	学長 柳澤 章 Tel 0480 - 34 - 4111 Fax 0480 - 33 - 7570 館長 松野健一

<p>11 西武鉄道株式会社 〒359 - 8520 埼玉県所沢市くすのき台1 - 11 - 1 車両部 部長付き</p>	<p>代表取締役社長 後藤高志 Tel 04 - 2926 - 2285 Fax 04 - 2926 - 2239 平岡清次</p>
<p>12 財団法人東日本鉄道文化財団 〒151 - 8578 東京都渋谷区代々木2 - 2 - 2 JR東日本本社ビル11階 企画部 課長</p>	<p>理事長 大塚陸毅 Tel 03 - 5334 - 0623 Fax 03 - 5334 - 0624 高橋政弘</p>
<p>13 東武博物館[財団法人東武鉄道共助会] 〒131 - 0032 東京都墨田区東向島4丁目28番16号 事務局</p>	<p>館長 花上嘉成 Tel 03 - 3614 - 8811 Fax 03 - 3614 - 8814 田中 隆</p>
<p>14 交通博物館[交通文化振興財団] 〒101 - 0041 東京都千代田区神田須田町1 - 25 総務課 課長</p>	<p>理事長 菅 建彦 Tel 03 - 3251 - 8481 Fax 03 - 3251 - 8489 浅野善一</p>
<p>15 財団法人日本ナショナルトラスト 〒113 - 0024 東京都文京区西片2 - 18 - 16 事務局</p>	<p>会長 杉浦喬也 Tel 03 - 6303 - 1110 Fax 03 - 3818 - 1165</p>
<p>16 上松町 〒399 - 5603 長野県木曾郡上松町駅前通り2 - 13 上松町役場 産業観光課商工観光係 係長</p>	<p>町長 田中正男 Tel 0264 - 52 - 2001 Fax 0264 - 52 - 1038 横井 実</p>
<p>17 虹の郷[財団法人伊豆市振興公社] 〒410 - 2416 静岡県伊豆市修善寺4279 - 3 園内交通課</p>	<p>理事長 西島萬徳 Tel 0558 - 72 - 7222 Fax 0558 - 72 - 7133 西島史年</p>
<p>18 大井川鐵道株式会社 〒428 - 8503 静岡県島田市金谷1112 - 2 運輸担当係 係長</p>	<p>代表取締役社長 榊原昌夫 Tel 0547 - 45 - 4113 Fax 0547 - 45 - 4115 石川寛之</p>
<p>19 東海旅客鐵道株式会社 〒453 - 8520 愛知県名古屋市中村区名駅1 - 3 - 4 車両部長 小松宣之 車両部管理課 課長代理</p>	<p>代表取締役社長 松本正之 Tel 052 - 564 - 2461 Fax 052 - 564 - 2462 神田英樹</p>
<p>20 博物館明治村[財団法人明治村] 〒484 - 0000 愛知県犬山市字内山1番地 総務</p>	<p>館長 飯田喜四郎 Tel 0568 - 67 - 0314 Fax 0568 - 67 - 0358 鈴木智久</p>

<p>21 西日本旅客鉄道株式会社 〒530 - 8341 大阪府大阪市北区芝田2 - 4 - 24 広報部</p>	<p>代表取締役社長 山崎正夫 Tel 03 - 5334 - 0623 Fax 03 - 5334 - 0624 松本茂樹</p>
<p>22 加悦SL広場[カヤ興産株式会社] 〒629 - 2422 京都府与謝郡加悦町滝941 - 2 管理部 部長</p>	<p>代表取締役 須藤洋右 Tel 0772 - 42 - 3186 Fax 0772 - 43 - 0080 吉村 勉</p>
<p>23 加悦鐵道保存会(新規加入) 〒629 - 2403 京都府与謝郡与謝野町字滝941-2 加悦SL広場内 加悦町観光協会事務局</p>	<p>理事長 森本 寿 Tel 0725 - 20 - 3811 (森本方) 篠崎 隆</p>
<p>24 ふるさと鉄道保存協会 〒606 - 0944 京都府京都市左京区松ヶ崎御所ノ内町26 理事長</p>	<p>理事長 手嶋康人 Tel 090 - 9692 - 2689 Fax 075 - 791 - 8005 手嶋康人</p>
<p>25 馬路村 〒781 - 6202 高知県安芸郡馬路村魚梁瀬 馬路村役場魚梁瀬支所 やなせ森林鉄道運営委員会 魚梁瀬支所長</p>	<p>村長 上治堂司 Tel 08874 - 3 - 2211 Fax 08874 - 3 - 2208 清岡宏敏</p>
<p>26 山口線SL運行対策協議会 〒753 - 8501 山口県山口市滝町1 - 1 商工労働部観光交流課 観光物産振興班 主事</p>	<p>会長 和田卓也 Tel 083 - 933 - 3170 Fax 083 - 933 - 3179 藤井 厚</p>
<p>27 九州旅客鉄道株式会社 〒812 - 8566 福岡県福岡市博多区博多駅前3 - 25 - 21 総務部広報課 課長</p>	<p>代表取締役社長 石原 進 Tel 092 - 474 - 2541 Fax 092 - 474 - 3898 江越善一郎</p>
<p>28 屋久町 〒891 - 4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間157 企画調整課 地域活性化対策係 係長</p>	<p>町長 日高十七郎 Tel 0997 - 47 - 2111 Fax 0997 - 47 - 2117 泊 竜二</p>

団体名	遠軽町	連絡先 〒099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町 遠軽町丸瀬布総合支所産業課
-----	-----	-----------------------------------------------------

< 森林鉄道雨宮 21号 >



雨宮号は昭和3年、東京の雨宮製作所で製造された機関車で3台が部品のまま輸送され丸瀬布で組み立てられました。その後、雨宮製作所では機関車の製造を中止したため、道内に導入された雨宮号はこの3台だけとなっています。

機関車には道庁が導入した順に番号が付けられ、丸瀬布の雨宮号は18・19・20号となりました。

雨宮19・20号は昭和3年9月に、18号は昭和4年5月に完成し、19号は昭和4年5月6日、20号は

同年6月16日、18号は昭和5年6月11日に輸送が開始されましたが、18号は13日稼働しただけで配置変えとなりました。

しかし、経済性や山火事防止の観点から、丸瀬布にも昭和26年に2台のディーゼル機関車が導入され、蒸気機関車は昭和33年12月末日までに配車とすることになりました。

ちなみに、機関車の番号は昭和24年度から営林局ごとの番号に改められ、雨宮19号は21号となりました。

この間、雨宮21号は昭和32年に危うくスクラップを免れ、昭和36年5月13日「サヨナラ運転」と格納式が行われ、営林署で保存の道が取られました。

その後、雨宮21号は昭和51年に営林局から町へ譲渡され札幌で復元整備し昭和54年5月15日いこいの森に新築された機関庫に格納され、翌16日、「ぼーっ」という汽笛を響かせ試運転が行われました。その間に客車や貨車を購入し、昭和56年には8の字の一周軌道も完成し、昭和57年5月1日より「森林鉄道の走る緑と渓谷のマチ」として動態保存されています。

平成16年10月22日北海道遺産構想推進協議会が開催され、新たな北海道遺産が27件承認され、森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」も北海道遺産に選定されました。

< 近況報告 >

西武鉄道より譲渡された井笠の客車を修繕（部分修繕・全塗装）



- 平成18年10月の運行は
雨宮21号、木曾森林客車、運材車、緩急車の車輛編成で運行



1. 運行日 平成18年4月29日から10月22日までの土・日・祝日
ゴールデンウィーク・夏休み期間は毎日運行
2. 運行時間 午前10時から30分毎に午後4時30分まで（昼1時間休み）
3. 運行区間 遠軽町丸瀬布上武利 森林公園いこいの森園内一周約2km
4. 乗車料金 大人 500円 小人 250円

三笠市 (市長 小林和男)	〒068-2192 北海道三笠市幸町2番地 三笠市役所経済建設部商工観光課商工観光係 電話番号 01267-2-3997 FAX 01267-2-7880 Eメール kankou@city.mikasa.hokkaido.jp ホムペジ http://www.city.mikasa.hokkaido.jp
-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2006『SL304号』運行計画

月	時間	日
4月	10時～16時	29.30
5月	10時～16時	3. 4. 5. 7.14.21.28
	12時～16時	6.13.20.27
6月	10時～16時	4.11.18.25
	12時～16時	3.10.17.24
7月	10時～16時	2. 9.16.17.23.27.28.30
	12時～16時	1. 8.15.22.29
8月	10時～16時	1. 2. 3. 4. 6. 8. 9. 10.11.13.14.15.17.18.20.27
	12時～16時	1. 8.15.22.29
9月	10時～16時	3.10.17.18.23.24
	12時～16時	2. 9.16.30
10月	10時～16時	1. 8. 9.14.15
	12時～16時	7

運行時間

日曜日、祝祭日、夏休み(月・土曜日除く)

10時～16時

土曜日

12時～16時



北海道鉄道開拓時代の貴重な資料を展示

館内には、北海道鉄道開拓時代から旧国鉄時代に活用されていた貴重な関連品を展示しております。

幌内鉄道の歴史を鑑賞できるミニシアタ -

幌内で発見された良質の石炭を運搬することを目的とした産業用鉄道として、北海道で最初に開通した幌内線。

幌内線は、昭和62年7月12日に廃線となりましたが、北海道鉄道開拓の先駆である幌内線の歴史を映像で紹介する「さらば栄光の幌内線(17分)」・「幌内線のあゆみ(24分)」・「幌内線最後の日(8分)」・「在りし日の幌内線(7分)」を鑑賞することができます。

HOGEGEの鉄道模型体験シミュレーション

鉄道模型の視点をモニターで見ること、大パノラマのなか、電車を実際に運転しているような体験ができます。

<p>団体名</p>	<p>北海道旅客鉄道株式会社</p>	<p>鉄道事業本部 運輸部 運用車両課 〒060-8644 北海道札幌市中央区北 11 条西 15 丁目 TEL 011-700-5785 FAX 011-700-5786</p>
------------	--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

四季折々を通じての多彩な SL 列車を運行

弊社では平成11年よりC11形蒸気機関車2両(C11-171, C11-207)を復元し、四季折々の北海道の自然や文化・歴史を堪能して頂ける各種観光列車、及びイベント列車として運行しております。

平成18年度はC11-171号機の間検査にあわせ、先輪の取替を行います。車両新製以来の車齢が高くなっており、復元からも年数が経過していることから、各部・各機器わたって細心の注意を払い、検査・修繕を行っております。また、SLの運転に際しては、運転からメンテナンスに至るまで、多くのSL特有の技術が必要であり、これらの技術の継承についても取り組み、今後も運行を継続し多くの皆様に喜んでいただけるよう努めて参ります。

平成18年度 SL 列車運転計画

SL 函館大沼号 函館本線 (函館～森)

4/29～5/7, 7/15～8/20 の土、日、祝

SL すずらん 留萌本線 (深川～増毛)

5/27, 28, 6/24, 25, 8/26, 27, 9/9, 10

SL 富良野・美瑛ノロッコ号

富良野線(旭川～富良野)

6/3,4, 9/16～18



駒ヶ岳、大沼を背に走る SL 函館大沼号



函館線山間部での力強い走り

SL ニセコ号 函館本線 (札幌～蘭越)

9/23～11/5 の土、日、祝

SL クリスマス in 小樽号 (札幌～小樽)

12/8～24 の金、土、日、12/25

SL 冬の湿原号 釧網本線 (釧路～標茶)

1/20, 21, 27～3/11,17,18

運転日は変更となる場合があります

団体名	ほべつ銀河鉄道の 里づくり委員会	〒054-0364 北海道勇払郡穂別町字富内 高橋方 Tel.01454-6-6212
-----	---------------------	---------------------------------------------------

〔委員会の主な活動〕

旧駅舎・客車 2 両・鉄路延長 1 キロメートル・宮沢賢治が設計した「涙ぐむ眼」花壇・公園 10,000 m²などの保存、維持管理が主な活動となっている。



「涙ぐむ眼」

町おこしの経緯

昭和 61 年の廃線によって地域の過疎化が一層深刻になった。歴史を思わせる駅舎・線路・構内をなんとか保存することにより町おこしができないか、地域の数人が組織（富内

再開発協議会）を立ち上げた。幸いにして横山村長が宮沢賢治の思想に感銘し、理想郷づくりに生命をかけて取り組んでいた。富内地域には、賢治観音像や鉄道もあり、条件が整っていたことから、銀河鉄道の里づくりと称して町おこしの活動がはじまった。

今までの活動経過・その他

- ・ 宮沢賢治設計の涙ぐむ眼花壇の造成によって地域住民参加（地域・学校・精薄授産施設・老人クラブ）による活動が始まる。年 2 回植栽 1 2 0 名参加
- ・ 会員が中心となって駅舎周辺の維持管理（線路の草刈り、駅舎の掃除、客車の清掃など）をおこなう。
- ・ 毎年 9 月 14 日に開催するイベント（銀河鉄道の夕べ）。全国から鉄道愛好家が集まる。
- ・ 町内外の各種イベントに積極的に参加し、交流を深める。
- ・ 維持管理費については、町より若干の補助金の交付を受けている。
- ・ 委員会のメンバーは、富内地域の 4 自治会の役員や主だった団体の関係者等で構成されている。

公園化によつての周辺整備が 2000 年に完成

廃線後、従来の形のまま維持管理を進めてきたが、毎年訪れる人たちが増え、また周辺の整備も遅れ、建物の老朽化も進んだことから町に対して、整備改築の要請をしていた。財政的に厳しい事情からなかなか予算化されずに経過していたが、平成 12 年度に国・道・町の支援を受け、立派な公園が完成した。地域住民が参加し、手づくりによる公園ということで、全国から注目されている。



2001 年よみがえれ汽笛キャンペーンの展開

廃線 15 周年目の記念行事として、2001 年 9 月 14 日にぼっちゃん列車を走らせた。

また、来年 2006 年は廃線 20 周年となるのでイベントの開催を計画している。

「坊ちゃん列車」

団体名	磐越西線SL運行推進協議会	〒965-0816 福島県会津若松市南千石町6-5 (会津若松商工会議所内) 0242-27-1212 fax 0242-27-1207 URL: http://www.aizu-cci.or.jp
-----	---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

SL磐梯会津路号 JR磐越西線 会津若松～郡山間

運転車両 蒸気機関車/C57 180号 (1937年三菱重工製)

・ 12系客車6両+展望車1両 定員480名 全車指定

運転区間 JR磐越西線 会津若松 - 郡山間

運転期間 4月下旬～9月下旬の土・日・祝日を中心に運転

概要 会津若松駅には、「SL磐越会津路号」「SLばんえつ物語号」「SL会津只見号」が定期運転および特別運転されています。

特に、秋の紅葉時は車窓から眺める風景とSLの力強い走りが楽しめます。

備考 SL-D51、C-11の特別運転もあります。

・ 「SLばんえつ物語号」 新潟 - 会津若松 10月1、7、9、21、22

・ 「SL会津只見号」 会津若松 - 只見 10月7 - 9

「SL D51ばんえつ物語号」も11月に運転される予定です。

(運転日、時刻等はJR各駅にて確認してください)



平成18年2月 D51 冬の特別運転

<p>団体名</p>	<p>大高企業株式会社 ウエスタン村</p>	<p>〒321-2421 栃木県日光市栗原315-1 0288-21-8731 Fax 0288-21-7093</p>
------------	----------------------------	----------------------------------------------------------------------



ウエスタン村を周遊する「ワイパウ号」

2006年 ポ - ルドウィン

「ワイパウ号」運転日

毎日運行(定休日除く)

9:00 ~ 14:30

区間 ウエスタン村内(エンドレス)

運賃 500円(一周)

保有車両

・バ - ジニア号(H.K. ポ - タ -

・ワイパウ号(ポ - ルドウィン)

・客車一両(ア - チバ - 台車をはいたもの)

・カブ - スー一両(展示のみ)

【近況報告】

- 1991年 7月 バ - ジニア州にあるウエスタンのテ - マ' - ク「ト - ビ - ズ、ミル アンド ミッションクリ - ク」より、1962年製のH.K.ポ - タ「7036号」を購入
- 1992年 4月 H.K.ポ - タ「7036号」が、ウエスタン村に到着
- 1993年 5月 「7036号」は「バ - ジニア号」と命名され、ウエスタン村にて運転を開始する。
- 1993年 5月 「バ - ジニア号」の運転開始と入替わりに、BLW「ワイパウ号」の全検にとりかかる。
- 1998年 7月 全検を終了し、組立を完了する。運行を再開する。
- 2003年 3月 H.K.ポ - タ社「バ - ジニア号」ボイラ - 破損(鉛管からの水漏れ)のため、現在修復中。

団体名	真岡線 S L 運行協議会	〒321-4305 栃木県真岡市荒町5203番地 TEL 0285(82)9151 FAX 0285(82)9152
-----	---------------	------------------------------------------------------------------



▲ S L もおか乗車 50 万人
記念式典の様子

「S L もおか」2006 冬・運行日程

【運行日】	11月	3日・4日・5日・11日・12日・18日 19日・23日・25日・26日
	12月	2日・3日・9日・10日・16日・17日 23日・24日
	1月	6日・7日・8日・13日・14日・20日 21日・27日・28日
【運行区間】	真岡鐵道 下館駅～茂木駅(41.9キロ)	
【運行時間】	下り	下館駅 10:37 発～茂木駅 12:02 着
	上り	茂木駅 14:28 発～下館駅 15:57 着
【運行車両】	S L	C 1 2 形 6 6 号 C 1 1 形 3 2 5 号
	P C	オハ 2 両、オハフ 1 両
	D L	DE 1 0 1 5 3 5 1 両

〔近況報告〕

ありがとう！「S L もおか」乗車 50 万人達成！！

・平成 6 年 3 月から運行を開始している真岡鐵道 S L もおかが、8 月 1 8 日、乗車 50 万人目のお客さんを迎えて運行されました。運行開始より約 1 2 年にわたり、大きな事故もなく運行を続けてこれたのは、ひとえにお客様や S L ファン、地域沿線の方々のおかげであると思います。本当にありがとうございました。

当日は乗車 50 万人を記念して下館発の S L 車内より乗車されたお客様に真岡線沿線の特産品である梨を「事故無し(梨)」とかけてプレゼントいたしました。また、真岡駅下り線ホームにて記念式典が行われ、真岡線 S L 運行協議会長である福田真岡市長よりお客様や S L ファンの方々に感謝の言葉が述べられました。

記念すべき 50 万人目に乗車したのは東京都からやってきた小学校 2 年生の女の子。お母さんと弟の 3 人で真岡線沿線の益子町に益子焼の陶芸教室に向かうため乗車したとのことです。

フーテンの寅さんと S L ~ 真岡線で昭和ノスタルジーを~

・茨城県下館駅発の S L もおかに乗っていると、次の停車駅の折本駅でたまに懐かしい人と再会することができます。その人とは「フーテンの寅さん」こと車寅次郎さん。突然の B G M と登場に乗客はびっくりするとともに、懐かしい昭和の雰囲気になります。

寅さんに扮しているのは茨城県筑西市の植木定男さん。自前の寅さんカバンや服装を用意し、観光客に寅さんと S L の雰囲気です昭和の時代を味わってほしいと、今年の 4 月からボランティアとしてたまに乗車しています。

車内ではお客さまと握手や記念撮影をしたり、「私、生まれも育ちも...」ではじまるおなじみの口上を披露したりと大活躍。

寅さんの S L 乗車は、風来坊らしく不定期。気が向いたときだけふらっと乗車しますので、運が良ければ出会うことできるかも。



しもだて美術館企画展

「写真展・永遠の蒸気機関車 くろがねの勇者たち」とタイアップ

・「S L もおか」の始発駅・下館にある「しもだて美術館」が主催になり、今年の夏休みに企画展「写真展・永遠の蒸気機関車 くろがねの勇者たち」が開催され、これに関連して真岡鐵道と様々なタイアップイベントを行いました。真岡鐵道 S L 担当課長の S L 裏話が聞ける「S L トーク」や真岡線 S L ボランティアも協力した親子で楽しめる S L 教室、企画展オリジナルのヘッドマークを付けた S L 運行、フォトコンテストといったイベントで、S L ファンだけでなく親子連れや写真ファン、沿線の方々にも S L の魅力を楽しんでいただきました。

団体名

日本工業大学 工業技術博物館

345-8501
埼玉県 南埼玉郡 宮代町 学園台 4 - 1
Tel. 0480-34-4111(大学代表)
Fax. 0480-33-7570(博物館直通)



製造されて115年、疾走する2109号蒸気機関車の勇姿

2006年の運転について

2109号蒸気機関車を、原則として8月と12月を除く毎月第3土曜日に定期有火運転し、一般に公開している。写真にキャンパス内で運転中の様子を示す。

このほかにも学園祭等のイベント時にも有火運転を行っており、運転予定日時等の詳細は、当博物館事務室に問い合わせ下さい。
また、急な都合により運転内容・日時を変更させて頂く場合もあるので、ご容赦願います。

運転状況について

2005年度に2109号蒸気機関車に用いられている左右2台のインゼクタ - の修理(OH)とボイラ - 内に組込まれている左右の繰出管内部の洗浄も行った結果、1年経た現在でも、これらは好調に作動し、有火運転を実施している。下記に平成18年度の有火運転実施日と予定日の一覧を示す。

平成18年度 2109号蒸気機関車 有火運転実施日

4月15日(土)	定期運転	(13:00~15:00)
5月13日(土)	附属中学校の見学	(14:00~15:20)
5月20日(土)	定期運転	(12:30~15:00)
6月5日(土)	日本テレビ収録	(15:30~18:00)
6月17日(土)	定期運転	(13:00~15:00)
7月15日(土)	定期運転・NHK収録 他	(12:00~15:00)
8月19日(土)	オープンキャンパス	(12:00~15:00)
9月9日(土)	オープンキャンパス	(12:00~15:00)
9月16日(土)	定期運転	(13:00~15:00)

平成18年度 2109号蒸気機関車 有火運転予定日

10月21日(土)	定期運転	(13:00~15:00)
11月4日(土)	大学祭・ホームカミングデー	(12:00~15:00)
11月18日(土)	定期運転	(13:00~15:00)
1月20日(土)	定期運転	(13:00~15:00)
2月17日(土)	定期運転	(13:00~15:00)
2月17日(土)	定期運転	(13:00~15:00)

(平成18年10月1日現在)

団体名	財団法人 東日本鉄道文化財団	郵便 151-8578 東京都渋谷区代々木 2-2-2 Tel: 03-5334-0623 Fax: 03-5334-0624
-----	----------------	-----------------------------------------------------------------------



計画概要(基本設計完了に伴い、一部変更しております)

建設地: 埼玉県さいたま市大宮区大成町 3 丁目、同北区大成町 4 丁目

・JR 大宮駅より埼玉新都市交通ニューシャトル「大成駅」下車徒歩 1 分

敷地面積: 約 41,600 m² / 延床面積: 約 28,200 m² / 展示スペース: 約 9,600 m²

展示車両: 36 両(すべて実物)

開館日: 2007 年 10 月 14 日

ホームページ <http://www.railway-museum.jp>

料金 通常: 大人 1000 円/子ども(小中高) 500 円/幼児(3 歳以上未就学児)200 円

団体: 大人 800 円/子ども 400 円/幼児 100 円

進捗状況

鉄道博物館については、2007(平成 19)年 10 月 14 日(日曜・鉄道の日)の開館を目指して、順調に準備作業を進めております。

建物建設工事では、昨年 11 月の起工式以降現在までに鉄骨工事をほぼ完了しました。さらに展示車両も、本年 6 月に津軽鉄道からオハ 31 形式客車の寄贈を受けるなど、各地からこれまでに 4 両の輸送を終え、展示に必要な修復工事に着手しております。



2006.9 鉄骨工事を終えた歴史ゾーン



2006.7 オハ 31 形式輸送

鉄道博物館メールマガジン会員の募集を開始

10 月 3 日創刊、開館まで毎月 2 回配信します。鉄道博物館ホームページよりご入会下さい。

旧新橋停車場 鉄道歴史展示室にて鉄道博物館プレ企画展開催中

東京・汐留の旧新橋停車場にて、11 月 19 日(日)まで『夜行列車～新橋発 2007 年鉄道博物館ゆき』と題した企画展示を開催しています。当企画展では、社会状況の変化の中で、夜行列車のニーズや役割がどのような変遷をたどって現在に至ったのかを紹介しています。

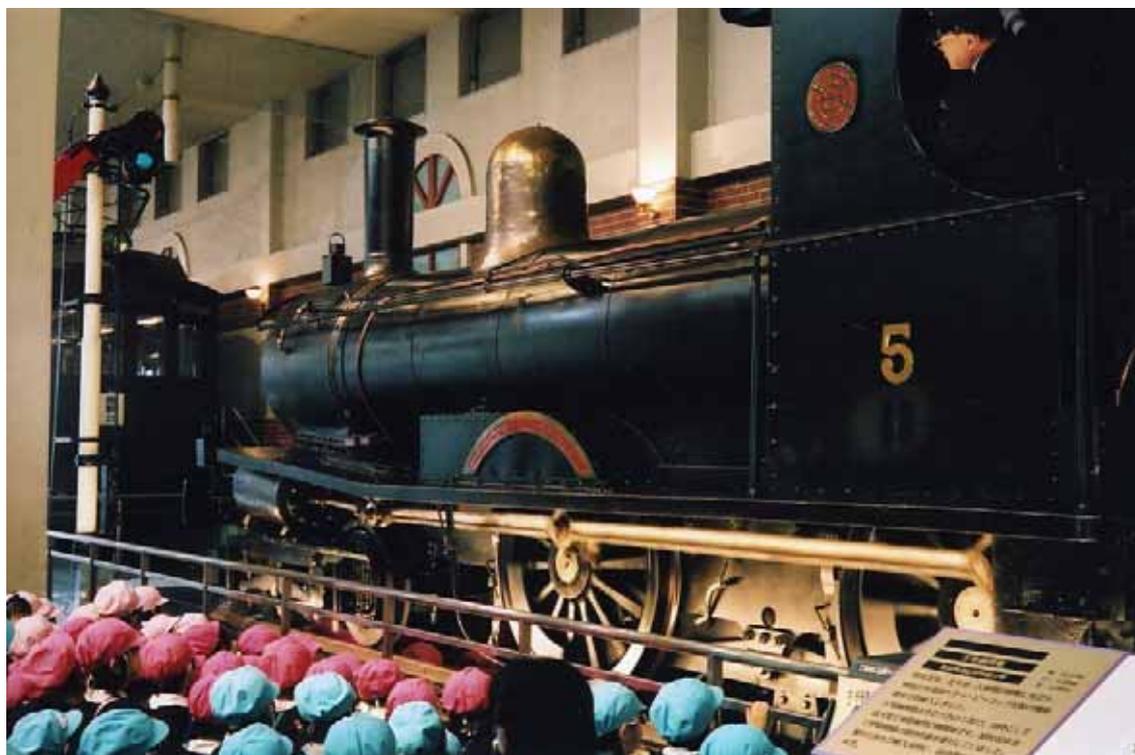


[問い合わせ] (財)東日本鉄道文化財団 鉄道博物館プロジェクト部 TEL.(03)5358-8209

<p>団体名</p>	<p>財団法人 東武鉄道共助会 東武博物館 TOBU MUSEUM OF TRANSPORT & CULTURE</p>	<p>〒131-0032 東京都墨田区東向島 4-28-16 TEL 03-3614-8811 FAX 03-3614-8814 URL: http://www.tobu.co.jp/museum</p>
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

保存車両 明治30年英国製蒸気機関車2両(1台は車輪の回転見学可)、大正13年製木造電車をはじめ、東武鉄道の歴代車両を9両展示(一部保存を含む)。

施設概要 実物車両や電車やバスのシミュレータ、模型電車が走るパノラマショーなどを通して、鉄道、バスについて楽しみながら学べる施設をめざしている。



団体名	財団法人 交通文化振興財団	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 03-3251-8481 FAX 03-3251-8489
-----	----------------------	----------------------------------------------------------------

交通博物館



陸・海・空のあらゆる乗り物の実物や模型を集めた、交通の総合博物館です。1921年(大正10年)鉄道開業50年記念事業のひとつとして、鉄道省が開設した鉄道博物館が前身となっています。

青梅鉄道公園



1962年(昭和37年)に鉄道開業90周年記念行事として、旧日本国有鉄道が開園した、実物の鉄道車両を中心に保存展示公開しているユニークな公園です。園内には貴重な11両の車両が屋外展示されています。

【財団のあらまし】

交通文化振興財団は、交通に関する知識の普及をはかり、もって交通文化の振興に寄与することを目的として、1970年(昭和45)11月25日に財団法人として設立されました。

主な事業として、「交通博物館」「青梅鉄道公園」「交通科学博物館」「梅小路蒸気機関車館」などの博物館運営を行っています。

「交通科学博物館」「梅小路蒸気機関車館」につきましては、西日本旅客鉄道株式会社のページをご覧ください。

【交通博物館の閉館および移転について】

開館以来3,000万人を超える方々にご来館いただきましたが、平成18年5月14日を最後に閉館し、いったん終止符を打つことになりました。長年にわたる皆様のご愛顧とご支援に心からお礼申し上げます。

2007年10月、さいたま市大宮で「鉄道博物館」として再出発します。

[2005年度～2006年度上期(5月14日) 活動報告]

期 間	タイトル	会 場
2005. 2/ 8～ 5/29	「東京のターミナル形成史」	交通博物館 1階特別資料展示室
4/29～ 5/ 1	「C57形蒸気機関車運転室公開」	交通博物館 1階機関車ホール
5/ 3～ 5/ 5	「ミニミニ機関車運転乗車会」	交通博物館 4階屋上
6/14～2006. 5/14	「乗り物模型蔵出し大公開」	交通博物館 1階特別資料展示室
6/18～2006. 5/14	「洋画特別公開」	交通博物館 1階展示室
8/ 6～ 8/21	「プラレール広場で遊ぼう」	交通博物館 2階展示室
10/ 1～ 10/31	親子の写真コンクール	青梅鉄道公園 1階展示室
10/ 8～ 10/16	「167系修学旅行電車運転席一般公開」	交通博物館 1階機関車ホール
10/23	「鉄道の日記念講演会」	交通博物館 3階映画ホール
12/16～2006. 5/14	「閉館記念ライトアップ」	神田川沿いレンガアーチ
2006. 1/ 2～ 5/14	「写真で振り返る交通博物館85年のあゆみ」	交通博物館 機関車ホール
1/11～ 5/14	「特別記念きっぷ 再現硬券シリズ配布」	交通博物館 1階受付前
1/11～ 5/14	「旧万世橋遺構特別公開」	交通博物館 1階遺構跡
3/10～ 5/14	ミニ展示「交博秘蔵かくれたコレクション展」	交通博物館 1階展示室
3/21～ 4/28	「閉館記念スタンプラリー」	交通博物館 1階受付前
3/25～ 4/ 3	特別車両展示(EF55形電気機関車)	交通博物館 高架線上
4/29～ 5/ 8	特別車両展示(DD51+25形客車2両)	交通博物館 高架線上

<p>団体名</p>	<p>財団法人 日本ナショナルトラスト</p>	<p>〒113-0024 東京都文京区西片二丁目 18 番 16 号 TEL : 03 (6303) 1110 FAX : 03 (3818) 1165</p>
------------	-----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

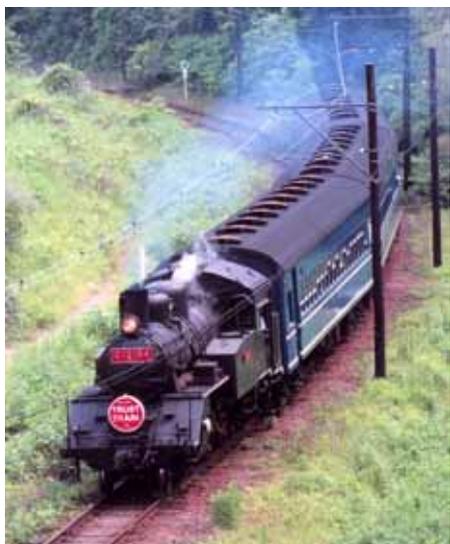


写真 酒井 誠・JNT 会員

2006年「トラストトレイン」運転日

4月15日・5月27日・6月24日・7月8日
8月26日・9月9日・10月14日・12月2日

いずれも土曜日に運転

* 8月26日は「SL保存親子ボランティア」を開催

〔区間〕 大井川鐵道 金谷 千頭間 (39.5km)

〔運賃〕 金谷 千頭 (片道 2,370 円・SL 急行料金含む)

〔保有車両の編成〕

C12形164号蒸気機関車、スハフ43形2・3号客車、
オハニ36形7号荷物合造客車

〔運行時間〕

金谷駅 12:47 発 千頭駅 14:15 着

千頭駅 15:23 発 金谷駅 16:46 着

〔近況報告〕

平成18年4月15日～ 蒸気機関車の運転前の火入れ・油差しの手伝い等、客車の清掃、小修理等のボランティア、4月・6月・8月の各月にオリジナルヘッドマークを装着し、走行

6月～ C12形蒸気機関車のボイラー検査

客車3両の定期検査

8月26日 第7回SL保存親子ボランティアを開催

*平成17年度は4月～12月まで計8回の運転を行い、乗客数957人、ボランティア参加数約100名、車内募金102,619円という結果だった。

平成17～18年度のトラストトレインの運転

C12形蒸気機関車にATSが取り付けられていないため、平成17年度4月以降の運転日は、大井川鐵道の機関車が代走して客車3両を牽引し、トラストトレインとして運行を行っています。ATS設置には多くの費用がかかるため平成17年6月より「ATS取り付け募金」を開始しております。全国の皆様から、暖かいメッセージとともに募金が寄せられておりますが、現在目標額の3分の1となっております。

平成18年度は、スハフ43形客車2両の車輪のフランジ70度化削正工事を行い、オハニ36形客車は、新規のタイヤを取り付ける予定です。

平成19年度には、トラストトレインは運行20周年を迎えます。市民参加により動態保存されているこの貴重なトラストトレインを末永く維持管理するために、今後も皆様の温かいご支援をお願いいたします。



写真 8月26日の運転日に参加したボランティア

上松町赤沢森林鉄道

〒399-5603
長野県木曾郡上松町 駅前通り2-13
上松町役場内

TEL(0264)52-2001

FAX(0264)52-1038

<http://www.town.agematsu.nagano.jp/>

赤沢森林鉄道の近況

平成18年度は、赤沢森林鉄道の運行開始20周年を迎えました。客車1両の台車を交換し、乗り心地と安全性の向上に努めています。また、赤沢自然休養林が「森林セラピー基地」に認定され、8月には開園以来の入場者が250万人を超えました。

今後もゆったりのんびり安全に皆様をおもてなしできるような心がけていきます。



2006年、赤沢森林鉄道は、次の日程で運行されています。

運行期間

2006年4月29日～11月5日の土曜・日曜・祝祭日。

連日運行日 GW 4月29日～5月7日

夏休み 7月22日～8月20日

紅葉 10月7日～11月5日

(夏イベントは8月5日～8月15日まで)

乗車料金 (15名以上団体は各100円引き)

通常・紅葉期間(イベント期間を除く)

大人:700円 4歳～小学生:400円

夏イベント期間(自然体験イベントの参加料となります)

大人:1200円 4歳～小学生:900円

運行区間

森林鉄道記念館前～丸山渡停車場までの往復2.2km。

運行時刻

通常運行日 発9:30～最終15:30まで30分毎に1便運行。

夏休み・イベント 始発9:00～最終15:30まで30分毎に1便運行。

紅葉シーズン 平日:始発10:00～最終15:00まで1時間毎に1便運行。

(土・日・祝日は、通常運行日同様)

団体名	財団法人	〒410-2416
	伊豆市振興公社 修善寺虹の郷	静岡県伊豆市修善寺4279-3 Tel 0558-72-7222 Fax0558-72-7133



CAMBRIA

保有車両

蒸気機関車 4両

ERNESST W TWINING	2 - C - 1	1949年製造
NORTHRN ROCK	1 - C - 1	1989年製造
CAMBRIA	1 - C - 1	1992年製造
C - 11 (金沢工業大学より貸与された)	1 - C - 2	1996年製造

ディーゼル機関車 2両

JOHN SOUTHLAND	B-B	1888年製造
CITY OF BIRMINGHAM	0 - C - 0	1992年製造

客車

普通客車	(乗車定員 20名)	13両
オープン客車	(乗車定員 20名)	2両
車椅子用客車	(乗車定員 車椅子4台)	3両

軌道延長 本線 2,315M 引き込み線・待避線 700M

付帯設備 転車台 1基

建物 駅舎 2棟 機関庫 1棟

[近況報告]

2005年	10月	客車NO.3・4オープン客車に改造
	11月	客車NO.15全塗装
2006年	1月	3号橋枕木交換 (66本)
	4月	NORTHRN ROCK 加減弁ハンドル・蒸気シリンダーパッキング交換 CITY OF BIRMINGHAM エアコンプレッサーベルトベアリング交換
	5月	CAMBRIA右連結棒とめ金具交換 分岐枕木交換・通り整正
	6月	CAMBRIAテンダー第3車輪交換
	7月	CAMBRIAボイラー・シリンダー・制動管圧力ゲージ交換
	8月	NORTHRN ROCK ・CAMBRIA水面計コックパッキング交換
	9月	NORTHRN ROCK 蒸気シリンダー・制動管圧力ゲージ交換

ホームページ <http://www.nijinosato.com/>

団体名	S L 運転復活 30 周年	〒428 - 8503
	大井川鐵道株式会社	静岡県島田市金谷 1112 番地の 2 TEL0547-45-4111 FAX0547-45-4115



田野口駅 (2006 年 6 月)

大井川鐵道株式会社 金谷～千頭間 (大井川本線) 千頭～井川間 (井川線・南アルプスあぶとライン)

運転車両：蒸気機関車 C108 号・C11190 号・C11227 号・C11312 号・C5644 号
C12164 号 (日本ナショナルトラスト所有) C5644・C12164 は現在休車中
電 車 元近鉄 16000 系・元南海 21000 系・元京阪 3000 系

S L 列車運転区間 大井川本線 金谷～千頭間

S L 運転期間 原則として通年運転。ただし、12 月から 3 月中旬の火・水・木曜日は
運休 (平成 18 年度)

備考：(社)日本民営鉄道協会との共同事業である「駅舎等を対象とするロケーション・サービス
推進事業」において、モデル駅の川根本町「田野口駅」の整備完了に伴い、鉄道沿線のロケ
に適した場所を紹介するパンフレット (ロケーションガイド) を作成しました。
大井川鐵道公式ホームページでは、車両の紹介をはじめ、各種割引乗車券、イベントの情報
等をご案内しております。

ホームページ <http://oigawa-railway.co.jp>

団体名 東海旅客鉄道株式会社

〒450-8520 名古屋市中村区名駅一丁目3番4号
東海鉄道事業本部 車両部 管理課
052-564-2461 FAX052-564-2462

佐久間レールパーク展示車両今年も修繕実施

当社の飯田線中部天竜駅に隣接した「佐久間レールパーク」には常設展示車両として16両あります。4年前からは車内及び屋根周りの修繕を実施し、昨年度はマイネ40-7、キハ48-036、オヤ31-12、クハ52004の4両について実施した。また、今年度はクハ111-1、クハ165-1、ED11-2の3両について修繕実施、計画中です。

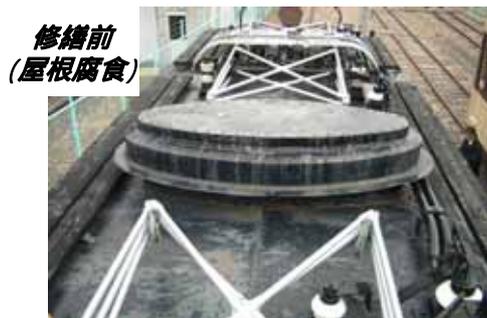
【クハ111-1】外板・屋根上全塗装・客室内修繕



【クハ165-1】外板塗装修繕



【ED11-2】外板・屋根上全塗装・一部窓枠修繕



団体名	博物館明治村	〒484-0000 愛知県犬山市内山1番地 TEL 0568-67-0314 http://www.meijimura.com
営業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開村時間 9時30分～17時 (3月～10月) 9時30分～16時 (12月～2月) ・ 休館日 12月から2月までの毎週月曜日(祝日の場合は開館)・12月31日 3月から11月は毎日開村しています。 ・ 蒸気機関車 平日30分間隔運行 土日祝20分間隔運行 区間 明治村名古屋駅 明治村東京駅 運賃 片道 大人300円 小学生150円 ・ 京都市電 平日・土日祝20分間隔運行 区間 市電名古屋駅 京都七條駅 品川燈台駅 運賃 片道 大人300円 小学生150円 (1乗車) 	
近況報告(平成18年度上期)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気機関車12号・9号 6月に12号の排蒸機操作レバ - 折損修理 7月に12号の水タンク内塗装 9月に蒸気室の弁心棒のパッキン切替 ・ 京都市電 毎月1回、専門業者による車輛点検実施 	
今後の予定	<p>平成18年9月16日から11月26日まで秋の催事「村の秋祭り」を開催、期間中イベントとして、「SLバックヤ - ド探検隊」を開催します。</p> <p>9月30日(土)・10月15日(日)・22日(日)・11月5日(日)・11日(土)・25日(土)の計6回開催。</p> <p>SLの往復乗車と給水作業や車庫など普段は見られないSL運行の裏側を説明を加えながら、分かりやすく説明します。</p> <p>対象は、小中学生及び保護者(2名まで同伴可)、小学3年生以下の方は保護者の同伴が必要。参加料は、お一人500円(入材料は別途必要)</p> <p>また、鉄道の日にあわせて、10月14日(土)に、小中学生を対象に案内放送や改札業務、発車合図などを体験してもらう「こどもSL駅長体験」を開催します。</p> <p>参加料300円で小学3年生以下の方は保護者の同伴が必要(入材料は別途必要)</p>	

団体名	西日本旅客鉄道株式会社	〒530-8341 大阪市北区芝田2-4-24 06-6375-8513
-----	-------------	--------------------------------------------

「梅小路の蒸気機関車群と関連施設」を準鉄道記念物に指定

当社では、社会文化活動の一つとして、鉄道の歴史・文化・技術などを将来に継承する取り組みを行っています。その中で、国鉄時代より鉄道記念物の指定を進めており、当社エリアには現在、鉄道記念物が8点、準鉄道記念物が12点あります。

今回、10月14日（鉄道の日）に「梅小路の蒸気機関車群と関連施設」を新たに13番目の準鉄道記念物として指定いたしました。梅小路の蒸気機関車、扇形車庫、旧二条駅舎など、歴史的、文化的価値の高いものを広く後世に伝えたいと思います。



新たに準鉄道記念物に指定された「梅小路の蒸気機関車群と関連施設」（梅小路蒸気機関車館）

<コラム> 国際会議「^{ティッキ}TICCIH2006」で当社の取り組みが発表されました



今年9月14日～18日にかけて、イタリア テルニ市において国際会議「TICCIH2006」（産業遺産保存に関する国際会議）が開催されました。

会議では、東京学芸大学名誉教授 青木栄一先生、職業能力開発総合大学校主任研究員 堤一郎先生共著による論文「日本における新たな歴史的鉄道遺産の指定（原文は英語）」において、新たな鉄道記念物指定をはじめとした当社の鉄道文化活動等の取り組みが事例研究として発表され、海外の研究者からも、「称賛に値する」などと、多くの評価をいただきました。

団体名	カヤ興産株式会社 (加悦S L広場)	〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝941-2 TEL 0772-42-3186 FAX 0772-43-0080
-----	-----------------------	------------------------------------------------------------------



シンポジウム



記念式典

本年の1月14日～15日の二日間にわたり、123号機関車の重要文化財指定を記念してシンポジウムと記念式典を皆様のご協力により開催させて頂く事が出来ました。

シンポジウムでは「鉄道保存のありかた」と題して小池滋先生にご講演をいただき、また「地域産業遺産の保存・活用と新展開に向けて」をテーマにしたパネルディスカッションではコーディネーターに堤一郎先生をお迎えしパネラーには地元経済界、産業界の方々にご参加いただき、活発な意見交換がなされました。私どもはこの式典・シンポジウムを通し文化・産業遺産である123号機関車を後世に伝えて行く使命感を再認識し心新たに保存に取り組んでいきたいと思っております。



加悦鉄道保存会による123号機関車のガイド

〔近況報告〕

平成17年11月「S L 広場周年祭」 平成18年5月「初夏の加悦鉄道まつり」を開催

平成18年1月25日～28日 奈良で開催された ユネスコ国際会議 -鉄道遺産の保存と活用- に参加
1月27日(金)セッションにて参加者報告を行う

キハ1018、キハ083 外回りの修繕、塗装を実施



キハ1018



キハ083

T M C 100モーターカー

K D - 4(カトーくん)ディーゼル機関車 修復中



<p>団体名</p>	<p>特定非営利法人 加悦鐵道保存会</p>	<p>〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝941番地の2 加悦 SL 広場内 電話 0725 - 20 - 3811 (森本方)</p>
------------	-----------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------



設立の経緯

本会は、平成8年11月に「加悦SL広場」が現在地に移転されたことを契機として、同所で長年にわたって継承されてきた鉄道近代化遺産の保存と活用について、その管理者に協力することを目的に任意団体「加悦SL広場友の会」として結成されました。

その後、鉄道遺産の文化的保存継承と展示運転時の安全意識を高める目的で、平成12年に「加悦鐵道保存会」と改称。同時に積極的な修復作業にも乗り出し、平成16年にはキハ101形気動車の動態復活にも成功しました。

任意団体として活動中には保存に関わる通常の作業と合せて、毎年、加悦鐵道の遺産を活用した催事を開催したほか、旧加悦町並びに加悦町観光協会に協力して、地域の催事にも出展を重ねました。

会員数は本年8月現在で34名。年齢・職業も様々ですが、加悦

の風土に魅せられたという共通の思いがあります。これからも、加悦鐵道の姿を総合的に再現する活動を続けてまいります。

特定非営利活動法人化について

平成17年秋に、旧加悦鐵道2号機関車が国の重要文化財に指定されましたが、鉄道車輛や施設の保存継承が、近代化産業遺産保存全般の中で重要な位置に定められつつあることを鑑み、本会はより主体的かつ社会的責任を持って加悦鐵道遺産を中心とする近代化産業遺産の保存継承活動に携わることを目的に、特定非営利活動法人化を申請し、本年8月に認証が下りました。

事業実施の方針

より充実した保存・維持活動を行うことと、地域住民並びに地域観光客に対し、本会の存在と活動の意義を知っていただくため、平成18年度と19年度には次の事業を行います。

(1) 加悦鐵道遺産の保存と継承に関わる事業

システムとしての加悦鐵道遺産の保存・継承事業を、項目別に目標を設定し実施します。

車輛・施設・運転保安設備の整備

史・資料の整理

運転・作業安全、運転保安に関する講習

(2) 丹後地方の鉄道を活かしたまちづくり事業並びに観光事業と連携した事業

本会の存在と活動の意義を知っていただくために、当地方住民の方々との交流を深めます。

初夏の加悦鐵道まつり

5月の大型連休期間

加悦SL広場周年祭

11月の第1日曜日

ちりめん街道まるごとミュージアムへの出展

原則として10月の最終日曜日

(3) 国内外の鉄道近代化遺産の保存に関する事業

将来にわたって他の事業者・団体と交流を結ぶ目的で、「日本鐵道保存協会」に加盟します。

(4) その他設立目的の達成のために必要と認めた事業

鐵道保存を取り巻く文化的意識を高める目的で各種の講座や体験学習の場を設けます。



体験乗車の改札風景。ガイドも行います。



小さな作業を通して加悦鐵道への愛着を深めます。



日頃の地道な作業が大きな実を結びます。

連絡等

当面の間、郵便物等は次のところへお送りください。 〒595-0071 大阪府泉大津市助松町3-1-31-508 森本 寿 方
なお、電子メールアドレスは tsubame@rapid.ocn.ne.jp です。

団体名	ふるさと鉄道保存協会	〒 606-0944 福岡県福岡市博多区博多駅東 3 丁目 11-12-201 株式会社ワンマイル内 TEL:092-414-5088
-----	------------	------------------------------------------------------------------------------



所有車両キハ605号(有田鉄道WG)

ふるさと鉄道保存協会は、全国各地の課題ごとに地域に根ざしたWG(Working Group)を組織し、会員が様々な活動を展開しています。事業資金は主に会員からの会費や寄付金で賄っていますが、市民ボランティアによる活動が主軸となっています。将来的には、より高い専門性を持った組織を作り、欧州型のボランティア組織で支える保存鉄道の実現を目指しています。

なお、2006年の総会で、理事長の改選を行い、協会創立以来の笹田昌宏が退任し、新たに手嶋康人が就任いたしました。以下に、各WGの近況をご報告いたします。

蒲原鉄道WG リーダー/齋藤幸祐

1999年に廃止となった蒲原鉄道(新潟県)で車両の保存運動を展開し、加茂市のご理解を得て静態保存を実現しました。また、蒲原鉄道鉄道部から図面などの資料を譲り受け、未永い保存に取り組んでいます。今後はこれらの資料の整理を進めてゆきたいと考えています。

鉄道郵便WG リーダー/中井健二

のと鉄道(石川県)能登中島駅構内で保存されている郵便車「オユ10形式」を所有し、塗装や腐食箇所の補修などの維持管理を行うと共に、春・秋には「鉄道郵便車フェスティバル」を開催しています。今秋のフェスティバルでは、鉄道郵便OBらが中心となり、上り急行「きたぐに」連結の郵便車、直江津 敦賀間の作業を実際に再現すると共に、お客様にも体験して頂きました。

天竜二俣キハ20修復WG

リーダー/山崎義和

天竜浜名湖鉄道(静岡県)天竜二俣駅の隣接地で保存されている国鉄二俣線の気動車「キハ20形式」と、寝台車「ナハネ20形式」の修復を行っています。この活動には、地元・浜松市民の皆様をはじめ、一般の方々も多数参加しており、来る11月上旬には修復完成を記念したイベントを計画しています。(ポスター参照)



ワフ30037伊賀WG リーダー/中盛汀

近鉄伊賀線の活性化に、近鉄・県・市・他団体と協働で取り組む「伊賀線協働塾」を開催しています。

有田鉄道WG リーダー/橋野穰

2002年12月31日をもって廃止となった和歌山県の有田鉄道旧金屋口駅構内で当協会が所有する保存車両の維持・管理を行っています。なお、先ごろ旧金屋口駅構内は有田川町の手で鉄道公園として整備されることが決まり、公園開設に向けて積極的に協力を行っています。

ちゃりトロWG リーダー/亀井高行

九州を拠点に軌道自転車を使ったイベントを開催していきます。2005年には平成筑豊鉄道のご協力を得て実験的なイベントを行いました。

ヨ9001WG リーダー/三阪芳史

2002年に福岡県田川郡赤村の自然学習村源じいの森へ車掌車「ヨ9000形式」を寄贈し、保守管理や一般公開などを行っています。今年度は、前回の全塗装から5年を経たため、腐食箇所の補修と全塗装を進めています。

団体名	魚梁瀬森林鉄道運営委員会	〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路村魚梁瀬 馬路村役場魚魚梁瀬支所 Tel.08874-3-2211 Fax.08874-3-2208
-----	--------------	----------------------------------------------------------------------------------

【近況報告】

平成18年

3月・7月 車両及びエンジンの点検

7月15日 フェスティバル魚梁瀬

7月22日 「山の学校留学」夏季体験入学で、体験乗車

* なお、予約があればいつでも運行可。(体験運転も行っています)

* また、L69が現在山形県山形市にある。体験運転は山形県山形市で行われています。



昭和63年に森林鉄道に関係しておった人らあが、酒の勢いでわしらを走らそうと言う事になり、魚梁瀬の丸山森林公園で走らしてもらいゆ。暇があつたら見に来てや!

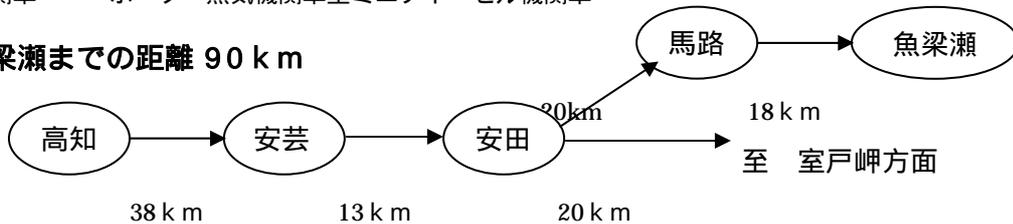
魚梁瀬森林鉄道

場 所 高知県安芸郡馬路村魚梁瀬・丸山森林公園内
 距 離 400メートル(2周)
 運 転 日 日曜・祝日(8月は土曜日も運転) 時間 10:30~15:00
 乗車料金 大人400円、小人200円
 保有機関車 野村式ディーゼル機関車、谷村式ディーゼル機関車
 岩手富士特殊軽量ガソリン機関車

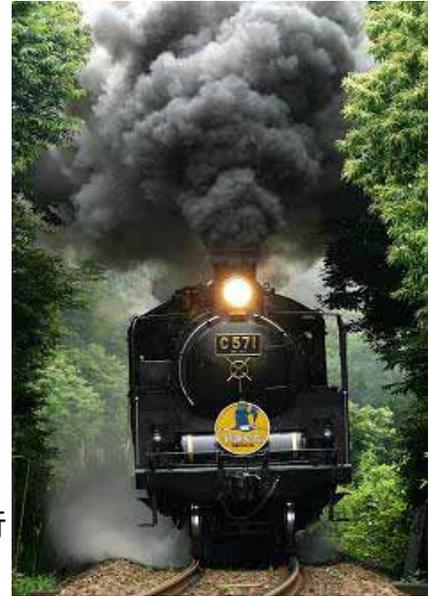
馬路森林鉄道

場 所 高知県安芸郡馬路村馬路 西谷川入り口(馬路温泉前)
 距 離 300メートル(2周)
 運 転 日 日曜・祝日・(8月は毎日運転) 時間 9:30~15:00
 乗車料金 大人300円、小人200円
 保有機関車 ポーター蒸気機関車型ミニディーゼル機関車

高知から魚梁瀬までの距離 90 km



団体名	山口線 S L 運行対策協議会	〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県観光交流課内 083-933-3170 Fax 083-933-3179
-----	-----------------	---------------------------------------------------------------------



2006年の「SLやまぐち号運行日」
3月18日から11月26日迄の間の土日祝日運行
春休み・GW・夏休み期間中は、ほぼ毎日運行

運行区間

JR山口線 新山口駅～津和野駅 62.9km

車両編成

C571、明治風客車、大正風客車、昭和風客車、欧風客車、展望車
7月21日から約2週間はC56160を連結しての重連運転を実施

車両運賃

新山口駅～津和野駅 大人1,620円 小人800円(全席指定)

運行時刻

下り(津和野行き)	新山口駅	10:34発	津和野駅	12:35着
上り(新山口行き)	津和野駅	15:33発	新山口駅	17:17着

本年度の活動状況

- ・SLやまぐち号スタートイベント 3月18日
- ・SLやまぐち号27周年記念事業 8月1日
- ・沿線市町PRデー
- ・SLやまぐち号ゴールイベント 11月26日

宣伝広報関係

- ・パンフレット作成 25,000部
- ・ホームページ運営
タイトル「SLやまぐち号と沿線の旅」
URL <http://www.571.jp>

団体名	九州旅客鉄道株式会社	連絡先（住所・電話等） 〒812-8566 福岡市博多区博多駅前 3-25-21 092-474-2541 Fax 092-474-3898
-----	------------	------------------------------------------------------------------------------

九州鉄道記念館開館3周年

九州鉄道記念館の開館3周年を記念して、平成18年10月9日（月）平成筑豊鉄道 直方～行橋間で、キハ58型気動車（国鉄色）を使用した臨時列車「九州鉄道記念館」号を走らせました。このほか、各種企画展示を実施することで、常に新鮮な鉄道記念館であり続けます。

「学んで、遊んで、鉄道のすべてがわかる。一日中楽しめる、九州鉄道記念館」

< 本館 >

明治24年建築、旧九州鉄道会社本社屋を利用したものです。

《明治時代の客車》

明治時代から活躍してきた本物の木造客車を記念館のメインシンボルとして展示。また、当時の乗客や車掌などの人形と、音の演出によって、かつての旅の情景を思わせませす。

《運転シミュレーター》

811系近郊型電車の運転台で、門司港～西小倉間の運転を疑似体験できます。

《九州の鉄道大パノラマ》

九州を舞台としたHOGEEJのパノラマ鉄道模型。博多駅・門司港駅からJR九州を代表する列車が次々と発車し、映像とナレーションで楽しめます。また、実物のマスコンの運転操作卓から操作することができます。

< 車両展示場 >

九州各地で活躍した歴代の車両を展示。実物車両の大きさや迫力、造形美を感じてもらう展示場です。

59634	C59 1	EF10 35
ED72 1	キハ07 41	クハ481-603
クハネ581-8	セラ1239	

《ミニ鉄道公園》

ミニ列車を自分で運転することができます。家族みんなで楽しめる公園です。料金は1台につき1回300円。

787系つばめ	883系ソニック	885系かもめ
72系ゆふいんの森	813系（近郊型電車）	

《旧0哩標》

九州鉄道会社が明治24年に門司駅を開業したときに、九州鉄道の起点と決めました。

【住所：北九州市門司区清滝2-3-29】【最寄駅：門司港駅】

TEL：093-322-1006 / FAX：093-332-7233

ホームページ <http://www.k-rhm.jp>

団体名	鹿児島県 屋久町	〒 8 9 1 - 4 4 0 4 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間 1 5 7 屋久町役場企画調整課 0997 - 47 - 2111 FAX 0997 47 2117
-----	----------	---------------------------------------------------------------------------------------------

【 屋久島林用鉄道 】・・・動く環境教育・・・

屋久島（安房）森林軌道は、歴史的に屋久島森林開発の軌跡であり、唯一国内に現存する林用鉄道です。

1923年（大正12年）の開設以来、屋久杉搬出の花形として、また、小杉谷・石塚集落に暮らす人々の生活の足としても活躍してきました。

現在は、利用頻度は減少したとはいえ、屋久島の産業史を知るうえからも文化的価値の高い地域資源です。

また、海岸部から標高1,000mまでに至るこの森林軌道は、標高差による植物の変化を理解するうえでも貴重なもので、特に荒川分岐点までの10km余りは、温帯の最も南にある屋久島の照葉樹林を知ることができます。

このように人と自然との関係や、屋久島の植生の特徴を理解するうえで、貴重な資源である軌道を後世まで動態保存して、このエリアを広義の『環境教育』の場としてとらえ『動く環境教室』の舞台として利活用できるよう、今後も事業を展開していくことにしていますが、人を乗せて運ぶためにクリアしなければならない問題も多々あり、なかなか先に進むことができない状況です。

